

腎免疫血管内科

■小林 修三 副院長，医学博士

浜松医科大学 1980年卒業

浜松医科大学大学院 1986年卒業

日本内科学会評議員，日本フットケア学会理事長，

日本医工学治療学会理事，

日本下肢救済・足病学会理事・評議員，

日本腎臓学会評議員・指導医，

日本高血圧学会評議員・指導医（FJSH），

日本病態栄養学会評議員・専門医，

日本急性血液浄化学会理事・評議員，

日本透析医学会評議員・指導医，

日本腹膜透析学会評議員，

日本アフェレシス学会評議員，

日本臨床ゲノム医療学会理事

■日高 寿美 血液浄化センター長，医学博士

浜松医科大学 1985年卒業

日本内科学会総合内科専門医，

日本腎臓学会評議員・指導医・専門医，

日本透析学会指導医・専門医，

日本フットケア学会理事・評議員，

日本病態栄養学会評議員・専門医，

日本アフェレシス学会認定血漿交換療法専門医，

日本急性血液浄化学会認定指導者，

日本医工学治療学会評議員

■大竹 剛靖 腎免疫血管内科主任部長，

医学博士

浜松医科大学 1987年卒業

日本腎臓学会評議員・指導医・専門医，

日本内科学会認定内科医，

日本透析医学会指導医・専門医，

日本フットケア学会理事・評議員，

日本下肢救済・足病学会評議員，

日本病態栄養学会評議員，

日本医工学治療学会評議員，

日本再生医療学会代議員

■守矢 英和 腎免疫血管内科部長

防衛医科大学校 1994年卒業

日本内科学会指導医・総合内科専門医，

日本腎臓学会指導医・専門医，

日本透析学会指導医・専門医，

日本高血圧学会専門医，

日本アフェレシス学会評議員・認定専門医，

日本フットケア学会評議員，

日本下肢救済・足病学会評議員

■岡 真知子 腎免疫血管内科医長

東海大学 2001年卒業

日本内科学会認定内科医，

日本腎臓学会専門医，日本透析学会専門医

■石岡 邦啓 腎免疫血管内科医長

札幌医科大学 2004年卒業

日本内科学会認定内科医

■持田 泰寛 腎免疫血管内科医長

北里大学 2005年卒業

日本内科学会認定内科医

■真栄里 恭子

琉球大学 1996年卒業

日本内科学会認定内科医

■田村 友美

■川端 千晶

【診療】

<人事>

後期研修医である松浦亮医師，吉田輝彦医師が3月末で退職し，代わりに4月から川端千晶後期研修医が加わり，後期研修医は後期研修2年目の田村友美医師と川端千晶医師の2名体制となった．また，6月からは

岡真知子医長が、湘南藤沢徳洲会病院腎臓内科部長として異動し、代わりに真栄里恭子医師が葉山ハートセンターから当院透析センターにスタッフとして異動した。主任部長である大竹剛靖は、成田富里徳洲会病院立ち上げ及び診療の協力のため、9月から12月まで成田富里徳洲会病院腎臓内科部長として勤務した。

<学業、研究活動>

糖尿病性腎症による慢性腎不全が原因で透析導入となる患者は年々増加し、2014年は年間15,000人以上の糖尿病腎不全患者が新規に透析導入となっている。糖尿病性腎症の進展阻止は喫緊の重要課題であるが、特に高度蛋白尿を呈する糖尿病性腎症患者の腎不全進展が大きな問題となっている。小林副院長は、世界で初めてネフローゼを呈する糖尿病性腎症患者にLDLアフェレシスを適用し、劇的な尿蛋白の改善と腎機能改善を報告した（Nephron 1998）。それから17年が経過し、小林副院長が中心となり厚生労働省との度重なる検討・交渉を経て、2015年4月1日に「多量蛋白尿を呈する糖尿病性腎症患者に対するLDLアフェレシス療法」として、当科が全国に先駆けて最初に先進医療Aを取得した。多くの大学病院を含む多施設共同診療研究であるが、民間病院が多くの大学病院をリードして行う画期的診療が始められた。保険診療への収載、多くの困っている糖尿病性腎症患者への高度医療の提供を最終目標として、全国をリードする診療を行っている。

糖尿病性腎症と同様に、現状では腎不全への進展阻止が困難な多発性嚢胞腎への個別的な積極的診療取り組みも行っている。昨年5月より、日高寿美部長が嚢胞腎外来を立ち上げ、嚢胞縮小、腎機能維持・改善を目的とした薬剤投与による診療を行っている。多数例での検討により、嚢胞腎の進展抑制効果が認

められることが期待される。

再生医療への取り組みは、再生医療等に関わる法規制の整備・執行により非常に厳しい管理・監督のもとに行われるようになっていく。当院では第2種ならびに第3種特定認定再生医療等委員会を設置し、外部から多数の再生医療の専門家を招いて厳しい審査のうえで再生医療に取り組んでいる。再生医療を用いた当科での取り組みとして、「重症下肢虚血を有する維持透析患者に対する末梢血CD34陽性細胞移植」を行っている。透析患者自身からG-CSF投与により増幅した末梢血単核球からCD34陽性細胞のみを分離回収し、虚血下肢へ投与する事で、現在まで良好な結果が得られている。1-2年以内にこの成果を対外的に報告する予定である。

<腎移植の促進>

腎移植の促進のため、腎移植外科と連携して移植医療にあたっている。隔週で行われる移植カンファレンスに、小林副院長以下腎臓内科全員で参加し、症例ごとに移植の適格性や、移植前から移植後にかけての医学的管理について検討し、移植後のレシピエント、ドナーの管理を移植外科とともに行っている。すでに透析を受けている患者のみならず、透析導入前の腎不全患者に対する腎移植（pre-emptive kidney transplantation: PEKT）も積極的に行っているのが当センターでの移植医療の1つの特徴である。

<CKD地域連携>

慢性腎臓病（CKD）は今や国民病とも呼べるほど該当する患者は多く、推定糸球体濾過値（eGFR）60ml/min/1.73m²未満の患者は日本国内で2,000万人にもなる（総人口の約20%）。一方で腎専門医がそのすべてをカバーすることは困難な状況にある。CKD診療を推進する為には地域の一般医科の先生方との連携が必須である。そこで当科では、2015年4月から

「湘南鎌倉総合病院・湘南地区CKD病診連携」システムを立ち上げた。GFR 50ml/min/1.73m²未満、あるいは尿蛋白1+以上(または0.3g/gCr以上)などの尿異常、急速な腎機能低下などを対象とし、近隣の先生方よりご紹介いただき、精査と治療方針決定の上で近隣の諸先生と連携して患者診療を行って行くシステムである。いまだ十分な活用ができていないが、今後さらに普及推進すべく努力している。

<QI大会>

腎臓病総合医療センターでの診療の質の向上(quality improvement: QI)を目的として、センター各部署がすべて一同に参加し発表する形で、腎臓病総合医療センターQI大会を毎年行っている。2015年は8月1日に開催し、腎臓内科では、透析用カテーテル留置に伴う感染率減少、逆紹介率増加、CKD地域連携促進をテーマに発表を行った。透析センター、移植外科、透析室、病棟、外来、栄養科、リハビリテーション科、病診連携室、クラーク部門などすべての部署で質の向上を目指した取り組みを行っている。

<教育>

昨年は研修医や腎臓を専門としない先生たちを対象として、腎臓病をわかりやすく理解してもらう目的で「腎障害・透析患者を受けもったときに困らないためのQ&A」を、小林修三編で上梓した。今年も、救急・ICUの現場において、研修医から上級医までわかりやすく多面的かつ実践的な総合的全身管理を行えるように、「救急・ICUの体液管理に強くなる 病態生理から理解する輸液、利尿薬、循環作動薬の考え方、使い方」を小林修三、土井研人(前当院腎臓内科後期研修医、現東京大学医学部附属病院救急部・集中治療部)編集で上梓し、当科スタッフも分担執筆を行なった。テキストを作成することで、多

くの医師が腎臓病の理解を広く深められるように、このような教育活動も行っている。

<徳洲会病院透析応援、指導>

我々は、以前より徳洲会の他病院に対して透析医療の応援・指導を継続して行っている。近隣にある葉山ハートセンターや湘南厚木病院はもとより、徳之島、喜界、沖永良部の離島の病院の透析室や、静内、函館共愛会、庄内余目、山北、新庄、東京西、大垣、出雲といった透析医不足の病院に出向いて患者診療や透析室の体制づくり、スタッフ指導にも力をいれてきた。現在、瀬戸内徳洲会病院、笠利病院、湘南厚木病院、東京西徳洲会病院において定期的に診療、指導に当たっている。

【診療実績】

2015年の年間入院患者数、外来患者数、腎生検施行内訳を以下に示す。

表1. 2013-2015年 診療実績データ

	2015年	2014年	2013年
新入院患者数	586人	568人	532人
延べ入院患者数	10,786人	10,227人	11,033人
延べ外来受診患者数	13,763人	13,438人	13,416人

表2. 2015年 腎生検施行内訳(年間 137件)

病理分類	症例数
メサングウム増殖性腎炎 (IgA 18, Non-IgA 18)	36
微小変化	5
膜性腎症	5
膜性増殖性腎炎	2
巣状糸球体硬化症	5

管内増殖性腎炎	1
悪性腎硬化症	1
急性尿細管壊死	4
急性間質性腎炎	4
慢性間質性腎炎	3
硬化性腎炎	3
髄質嚢胞腎	1
紫斑病性腎炎	3
ループス腎炎	1
壊死性半月体形成性腎炎	5
腎アミロイドーシス	2
糖尿病性腎症	6
骨髄腫腎	2
移植腎生検	48
合計	137

【発表を含めた2015年1年間の業績】

(1) 特別講演

- 1) 小林修三：CKD・DM患者における末梢動脈疾患～早期発見と治療戦略～. 糖尿病と末梢動脈疾患を考える会, 埼玉, 2015.
- 2) 愛甲美穂：Step Up！フットケア技術～巻き爪・肥厚爪・胼胝（タコ）・鶏眼（ウオノメ）の実践～. 第9回末梢循環セミナー, 横浜, 2015.
- 3) 大竹剛靖：当科における再生医療へのとりくみ. 徳洲会経営戦略セミナー, 幕張, 2015.
- 4) 小林修三：「糖尿病・透析患者におけるPAD」～早期発見と治療戦略～. 第6回飯伊フットケア研究会, 飯田, 2015.
- 5) 守矢英和：「CKD診療における石灰化病変の臨床的意義」. 第4回東葛南部リンセミナー, 船橋, 2015.
- 6) 日高寿美：当院におけるのう胞腎治療について. PKDカンファレンス, 横浜, 2015.
- 7) 日高寿美：「多発性のう胞腎—のう胞腎外来を立ち上げて—」. 磐田ADPKD学術講演会, 磐田, 2015.
- 8) 守矢英和：透析患者の石灰化について. 第17回SK腎セミナー, 鎌倉, 2015.
- 9) 小林修三：アフェレシスの新たな展開とその作用機序. 第21回日本アフェレシス学会, 九州地方会, 福岡, 2015.
- 10) 小林修三：透析患者における心血管障害～血管石灰化とリン管理～. Hamamatsu CKD-MBD研究会, 浜松, 2015.
- 11) 小林修三：足は全身の鏡～末梢動脈疾患（PAD）の早期発見と治療～. 姫路PAD講演会, 姫路, 2015.
- 12) 小林修三：血管石灰化の臨床的意義～早期からのリン管理の重要性～. ホスレノール WEBカンファレンス, 2015.
- 13) 大竹剛靖：透析患者の動脈硬化合併症～リン吸着薬選択の重要性～. 山梨県透析医会 学術講演会, 甲府, 2015.
- 14) 小林修三：「慢性腎臓尿におけるPAD～その病態と治療戦略～」. 第7回北摂心・腎疾患フォーラム—1st announcement—, 大阪, 2015.
- 15) 小林修三：血管石灰化の臨床的意義～早期からのリン管理の重要性～. 第7回水戸リンセミナー, 水戸, 2015.
- 16) 小林修三：CKDにおける心血管障害～血管石灰化とリン管理～. 第3回西濃保存期腎不全の治療を考える会, 大垣, 2015.
- 17) 大竹剛靖：第2部 2016年度プログラムについての説明会（腎免疫血管内科）. 湘南鎌倉総合病院 内科後期研修センター研修説明会 in Tokyo, 東京, 2015.

- 18) 日高寿美：ランチョンセミナー10 多発性のう胞腎～その病態と診断，トルバプタンへの期待～．第56回日本人間ドック学会学術大会，横浜，2015．
- 19) 石岡邦啓：透析各段階での検査データの解釈と日常生活～腹膜透析における検査データの見方～．湘南鎌倉CAPDの会学習会，湘南鎌倉総合病院，2015．
- 20) 小林修三：ランチョンセミナー47 日本が世界に果たす役割 アフリカ14ヶ国への透析導入の経験から．第60回日本透析医学会学術集会・総会，横浜，2015．
- 21) 小林修三：よくわかる講座10 LDLアフェレシスの現状と今後の展望．日本医工学治療学会第31回学術大会，広島，2015．
- 22) 小林修三：CKDにおける心血管障害～血管石灰化とリン管理～．姫路CKD-MBD研究会2015，姫路，2015．
- 23) 小林修三：透析患者の末梢動脈疾患とフットケア～早期発見と治療戦略～．第5回いわき地区セミナー，いわき，2015．
- 24) 日高寿美：多発性のう胞腎—のう胞腎外来を立ち上げて—．ADPKD 最前線治療を考える，福岡，2015．
- 25) 日高寿美：2015年に認められた指定難病の腎疾患と医療連携～のう胞腎外来立ち上げから1年経過して～．平成27年度鎌倉市医師会学術講演会，第5回生涯教育講座，鎌倉，2015．
- 26) 日高寿美：多発性のう胞腎—のう胞腎外来を立ち上げて—八事PKD Forum，名古屋，2015．
- 27) 日高寿美：サムスカ A to Z 4.サムスカ適正使用について．多発性嚢胞腎 Seminar，東京，2015．
- 28) 小林修三：透析患者における認知症～脳血流と脳萎縮から．第6回福岡県透析医学会学術集会，福岡，2015．
- 29) 小林修三：医学の進歩と個性ある自由闊達な診療～がんmRNA発現解析と寿命遺伝子について．第5回臨床ゲノム医療学会“東京大会”，東京，2015．
- 30) 小林修三：慢性腎臓病における心血管障害～血管石灰化の役割～．第15回北総・常磐透析血管病変研究会，千葉，2015．
- 31) 小林修三：教育講演4 LDLアフェレシスの効果とその特徴．第7回日本下肢救済・足病学会学術集会，横浜，2015．
- 32) 小林修三：チームで取り組むフットケア～早期発見・早期治療～．第12回関西透析超音波研究会，大阪，2015．
- 33) Shuzo Kobayashi : PAD in DM & CKD patients: An Early Detection & Strategies for the treatment. PAD Forum 2015 Multidisciplinary Approach Chiang Mai, Thailand 2015.
- 34) 石岡邦啓：透析各段階での検査データの解釈と日常生活～腹膜透析における検査データの見方．湘南鎌倉CAPDの会学習会，湘南鎌倉総合病院，2015．
- 35) 小林修三：ランチョンセミナー1 慢性腎臓尿における心血管障害～その病態と治療～．第45回日本腎臓学会東部学術大会，東京，2015．
- 36) 日高寿美：ランチョンセミナー3 多発性のう胞腎～薬物治療の可能性～．第45回日本腎臓学会東部学術大会，東京，2015．追加
- (2) シンポジウム・ワークショップ
- 1) 愛甲美穂：診療報酬への展開～その問題と達成への道筋 理事長-2 透析現場では何が問題か．第13回日本フットケア学会年次学術集会，東京，2015．

- 2) 石岡邦啓：PADに対するLDLアフェレシス治療
PADに対するLDLアフェレシスの効用と長期効果。第13回日本フットケア学会年次学術集会，東京，201。
- 3) 日高寿美：下肢壊疽を有する透析患者の栄養管理。第13回日本フットケア学会年次学術集会，東京，2015。
- 4) 小林修三：石灰化病変評価指標の作成 第一部
これからの医師主導型試験のありかた。Japan
Endovascular Treatment Conference 2015，大阪，
2015。
- 5) 小林修三：透析患者における下肢切断—その実
態と対策—。第5回日本腎臓リハビリテーショ
ン学会学術集会，東京，2015。
- 6) 愛甲美穂，五十嵐愛子，山下昭二，日高寿美，
大竹剛靖：透析患者における足病変—治療介入
のための鎌倉分類。第5回日本腎臓リハビリテー
ション学会，東京，2015。
- 7) 小林修三：透析患者におけるPAD～早期発見と
治療戦略「腎と透析」セミナー2015，東京，2015。
- 8) 小林修三：「糖尿病・CKD患者におけるPAD～薬
物治療を含めて～」。逗葉内科医会 学術講演会，
逗子，2015。
- 9) 小林修三：CKDにおける心血管障害～血管石灰
化とリン管理～。CKDリスクマネジメントin
YOKOHAMA，横浜，2015。
- 10) 大竹剛靖，守矢英和，日高寿美，小林修三：シ
ンポジウム10 腎疾患—最新のトピックスと新
たな適応 糖尿病性腎症に対するLDLアフェレ
シスと今後の展望。第36回日本アフェレシス学
会学術大会，川越，2015。
- 11) Shuzo Kobayashi: Change in cardiovascular
parameters respond to online HDF. PAD Forum
2015 Multidisciplinary Approach Chiang Mai,
Thailand, 2015.
- 12) Shuzo Kobayashi: Ischemic limb in CKD PAD
Forum 2015 Multidisciplinary Approach Chiang
Mai, Thailand, 2015.
- 13) Shuzo Kobayashi: Applications lipid apheresis in
nephrology. PAD Forum 2015 Multidisciplinary
Approach Chiang Mai, Thailand, 2015.
- 14) 石岡邦啓，大竹剛靖，守矢英和，日高寿美，小
林修三：Comorbidity and prognosis in hemodialysis
patients ～coronary artery disease and peripheral
artery disease～。第24回日本心血管インターベン
ション治療学会学術集会，福岡，2015。
- 15) 石岡邦啓，田村友美，松浦亮，吉田輝彦，持田
泰寛，岡真知子，真栄里恭子，守矢英和，日高
寿美，大竹剛靖，小林修三：透析導入期慢性腎
臓病患者における末梢動脈疾患～ABIとSPP
(skin perfusion pressure) を用いた検討。医工学
治療学会 第31回学術大会，広島，2015。
- (3) 国際学会
- 1) Hidaka S, Tamura T, Maesato K, Mochida Y, Ishioka
K, Oka M, Moriya H, Ohtake T, Kobayashi S. :
Long-acting CERA increases the circulating CD34
positive cells more prominent than short-acting
Epoetin-beta in patients undergoing hemodialysis
Kidney Disease and Renal Transplant. EDTA 52nd
Congress London, 2015.
- 2) Ishioka K, Moriya H, Ohtake T, Hidaka S, Kobayashi
S.: Malnutrition-inflammation-atherosclerosis
syndrome is closely related to peripheral arterial
disease in hemodialysis patients. 9th ISHD Kuala
Lumpur, 2015.
- 3) Moriya H, Mochida Y, Ishioka K, Oka M, Hidaka S,
Ohtake T, Kobayashi S.: A novel and simple

identification method for causative micro-organisms of PD-related peritonitis. 7th ACDM-ISPD2015, Korea, 2015.

- 4) Mochida Y, Ohtake T, Ishioka K, Maesato K, Oka M, Moriya H, Hidaka S, Kobayashi S: Impact of percutaneous transluminal renal angioplasty (PTRA) on long-term prognosis in patients with severe atherosclerotic renal artery stenosis (RAS). ASN San Diego, 2015.

(4) 国内学会

- 1) 愛甲美穂：看護専門外来におけるフットケアの特殊性。第13回日本フットケア学会年次学術集会，東京，2015。
- 2) 持田泰寛：下肢大切断による予後，予後規定因子の検討。第13回日本フットケア学会年次学術集会，東京，2015。
- 3) 守矢英和，田村友美，吉田輝彦，松浦亮，持田泰寛，真栄里恭子，石岡邦啓，岡真知子，日高寿美，大竹剛靖，小林修三：透析患者の末梢動脈疾患に対するLDLアフェレシスの長期成績，第13回日本フットケア学会年次学術集会，東京，2015。
- 4) 大竹剛靖，田村友美，吉田輝彦，松浦亮，持田泰寛，石岡邦啓，岡真知子，真栄里恭子，守矢英和，日高寿美，小林修三：末梢血単核球細胞移植による毛感再生治療を施行したPAD合併血液透析患者のSPP変化と長期予後。第13回日本フットケア学会年次学術集会，東京，2015。
- 5) 日高寿美，田村友美，吉田輝彦，松浦亮，持田泰寛，真栄里恭子，石岡邦啓，岡真知子，守矢英和，大竹剛靖，小林修三：LDLアフェレシスは下肢末梢動脈疾患患者の血管内皮前駆細胞を増加させる。第13回日本フットケア学会年次学

術集会，東京，2015。

- 6) 神田貴臣，西村彰紀，池田崇，根本敬，守矢英和，日高寿美，大竹剛靖，小林修三：腎臓内科入院患者に対するリハビリテーション介入～リハビリテーション介入は腎臓病患者の在院日数に有意に関与する～。第5回日本腎臓リハビリテーション学会学術集会，東京，2015。
- 7) 松浦亮，日高寿美，田村友美，吉田輝彦，持田泰寛，真栄里恭子，石岡邦啓，岡真知子，守矢英和，大竹剛靖，小林修三：透析低血圧 (IDH) は血管内治療 (EVT) を要する重症下肢虚血 (CLI) の危険因子となる。第60回日本透析医学会学術集会，横浜，2015。
- 8) 持田泰寛，田村友美，吉田輝彦，松浦亮，石岡邦啓，岡真知子，真栄里恭子，守矢英和，日高寿美，大竹剛靖，小林修三：下肢大切断 (Amp) 患者の予後に及ぼす腎機能の影響。第60回日本透析医学会学術集会，横浜，2015。
- 9) 種山かよ子，猪俣隼人，高室昌司，守矢英和，日高寿美，大竹剛靖，小林修三：透析液濃度の精密管理～測定機器の管理体制変更～。第60回日本透析医学会学術集会，横浜，2015。
- 10) 石岡邦啓，田村友美，吉田輝彦，松浦亮，持田泰寛，岡真知子，真栄里恭子，守矢英和，日高寿美，大竹剛靖，小林修三：維持血液透析患者における下肢末梢動脈疾患 (PAD) 新規発症の要因の検討～MIA症候群との関連。第60回日本透析医学会学術集会，横浜，2015。
- 11) 三宅克典，徳本直彦，守矢英和，日高寿美，大竹剛靖，小林修三，磯貝尚子，河内順，下山ライ，柏木宏之，荻野秀光：当院における透析患者の大腸穿孔の原因と予後についての検討。第60回日本透析医学会学術集会，横浜，2015。
- 12) 山下昭二，塩野恵美子，坊坂桂子，守矢英和，

- 日高寿美, 大竹剛靖, 小林修三: タイムアウト制導入による安全対策. 第60回日本透析医学会学術集会, 横浜, 2015.
- 13) 真栄里恭子, 田村友美, 吉田輝彦, 松浦亮, 持田泰寛, 石岡邦啓, 岡真知子, 守矢英和, 日高寿美, 大竹剛靖, 小林修三: 透析患者の膵癌は軽微な異常より発見される～膵癌の糖尿病透析患者の2例～. 第60回日本透析医学会学術集会, 横浜, 2015.
- 14) 愛甲美穂, 五十嵐愛子, 山下昭二, 守矢英和, 日高寿美, 小林修三: 下肢潰瘍症例からフットケアプログラムを検討する. 第60回日本透析医学会学術集会, 横浜, 2015.
- 15) 田村友美, 日高寿美, 吉田輝彦, 松浦亮, 真栄里恭子, 持田泰寛, 石岡邦啓, 岡真知子, 守矢英和, 大竹剛靖, 小林修三: 透析中 (HD) の高濃度ブドウ糖液投与により反応性低血糖を来した一例. 第60回日本透析医学会学術集会, 横浜, 2015.
- 16) 守矢英和, 川端千晶, 田村友美, 真栄里恭子, 持田泰寛, 石岡邦啓, 岡真知子, 日高寿美, 大竹剛靖, 小林修三: 肺腺癌に対する化学療法後に顕在化した1型および2型RTAを呈するSjogren症候群合併Fanconi症候群の1例. 第45回日本腎臓学会東部学術大会, 東京, 2015.
- 17) 田村友美, 川端千晶, 持田泰寛, 石岡邦啓, 真栄里恭子, 岡真知子, 守矢英和, 日高寿美, 大竹剛靖, 小林修三: 自家感作性皮膚炎に合併した二次性膜性腎症の一例. 第45回日本腎臓学会東部学術大会, 東京, 2015.
- 18) 松浦亮, 持田泰寛, 石岡邦啓, 岡真知子, 真栄里恭子, 守矢英和, 日高寿美, 大竹剛靖, 小林修三: 発熱と腎障害を主訴にFree light chain (FLC) の測定で早期に多発性骨髄腫 (MM) と診断しえた1例. 第45回日本腎臓学会東部学術大会, 東京, 2015.
- 19) 石岡邦啓, 田村友美, 川端千晶, 持田泰寛, 岡真知子, 真栄里恭子, 守矢英和, 日高寿美, 大竹剛靖, 小林修三: 内皮下に著明な免疫複合体沈着を伴った壊死性糸球体腎炎の1例. 第45回日本腎臓学会東部学術大会, 東京, 2015.
- 20) 吉田輝彦, 田村友美, 松浦亮, 真栄里恭子, 持田泰寛, 石岡邦啓, 岡真知子, 守矢英和, 日高寿美, 大竹剛靖, 手島伸一, 小林修三: 血管石灰化が著名であった長期血液透析症例2例の剖検所見. 第45回日本腎臓学会東部学術大会, 東京, 2015.
- 21) 持田泰寛, 田村友美, 川端千晶, 石岡邦啓, 岡真知子, 真栄里恭子, 守矢英和, 日高寿美, 大竹剛靖, 小林修三: 意識障害, 薬物過剰内服にて入院され高Cl血症を呈した一例. 第45回日本腎臓学会東部学術大会, 東京, 2015.
- 22) 真栄里恭子, 持田泰寛, 石岡邦啓, 岡真知子, 守矢英和, 日高寿美, 大竹剛靖, 小林修三: 血液透析患者の脳と海馬の萎縮に関する検討. 第112回日本内科学会総会, 京都, 2015.
- 23) 石岡邦啓, 田村友美, 吉田輝彦, 松浦亮, 持田泰寛, 岡真知子, 真栄里恭子, 守矢英和, 日高寿美, 大竹剛靖, 小林修三: トロンビン製剤を機に発症した後天性凝固因子欠乏症に対し血漿交換とステロイド治療が著効した透析患者の一例. 日本医工学治療学会第31回学術大会, 広島, 2015.
- 24) 宮下紘和, 川端千晶, 田村友美, 持田泰寛, 石岡邦啓, 真栄里恭子, 岡真知子, 守矢英和, 日高寿美, 大竹剛靖, 小林修三: 胸痛と全身関節痛で発症し腎障害を呈したチクロピジンによる薬剤性ループス (DIE) の一例. 第620回日本内

科学会関東地方会，東京，2015.

- 25) 須釜典子，坊坂桂子，篠原裕，守矢英和，日高寿美，大竹剛靖，小林修三：腎臓教室受講患者における1年後の腎機能低下の進展. 第18回日本病態栄養学会，京都，2015.
- 26) 須釜典子，櫻井聖子，三宅哲，望月弘彦，守矢英和，日高寿美，大竹剛靖，小林修三：経腸栄養から経口摂取へ移行できたギラン・バレー症候群の一症例. 第30回日本静脈経腸栄養学会，神戸，2015.
- 27) 守矢英和，田村友美，持田泰寛，石岡邦啓，真栄里恭子，岡真知子，日高寿美，大竹剛靖，小林修三：糖尿病合併血液透析患者のリスク評価に週平均化血圧：WAB（weekly averaged blood pressure）は有用である. 第58回日本糖尿病学会年次学術集会，山口，2015.
- 28) 持田泰寛，田村友美，石岡邦啓，真栄里恭子，岡真知子，守矢英和，日高寿美，大竹剛靖，小林修三：下肢切断患者の予後に関する糖尿病の影響. 第58回日本糖尿病学会年次学術集会，山口，2015.
- 29) 日高寿美：透析患者の下肢PADに対するリハビリテーション. 第21回日本心臓リハビリテーション学会，福岡，2015.

(5) 研究会発表

- 1) 田村友美：透析中の高張ブドウ糖点滴により著明な血糖変動をきたした痩せの著しい1例. 第16回SK腎セミナー，鎌倉，2015.
- 2) 吉田輝彦：長期透析患者の剖検例～血管石灰化を中心に～. 第17回SK腎セミナー，鎌倉，2015.
- 3) 川端千晶：結核性腹膜炎に合併した糸球体腎炎の一例. 第18回SK腎セミナー，鎌倉，2015.
- 4) 石岡邦啓：急性腎不全を合併した薬剤誘発性過

敏症候群（DIHS）の一例. 第19回SK腎セミナー，鎌倉，2015.

- 5) 守矢英和：透析患者の末梢動脈疾患に対するLDLアフェレシスの長期成績. 第20回SK腎セミナー，鎌倉，2015.
- 6) 田村智美：著名な高血圧症を有し，腎動脈に血管病変を認めた一例. 第11回CKD Conference in Kamakura，鎌倉，2015.
- 7) 中島みなみ，本田謙次郎，岡本好司，土井研人，守矢英和，大竹剛靖，日高寿美，野入英世，南学正臣，小林修三：難治性末梢動脈疾患におけるMaggot Debridement therapyの創傷治癒機構. 第4回マゴットセラピー研究会，東京，2015.
- 8) 持田泰寛，田村友美，吉田輝彦，松浦亮，石岡邦啓，真栄里恭子，岡真知子，守矢英和，日高寿美，大竹剛靖，小林修三：抗リン脂質抗体症候群（APS）による血栓性微小血管障害（TMA）を呈した抗GBM抗体陽性ネフローゼ症候群の1例. 第63回神奈川腎炎研究会，横浜，2015.
- 9) 真栄里恭子：血液透析患者の脳と海馬の萎縮に関する検討. 第19回TFDセミナー～Tokyo Female Doctor～，東京，2015.
- 10) 守矢英和：肺腺癌に対する化学療法後に顕在化した汎電解質異常の1例. 第4回湘南電解質キャンプ，大磯，2015.
- 11) 吉田輝彦：長期透析患者の剖検例～血管石灰化を中心に. 第17回SK腎セミナー，鎌倉，2015.
- 12) 日高寿美：当院におけるのう胞腎治療について. サムスカ学術講演会，横浜，2015.
- 13) 川治崇泰，守矢英和，石岡邦啓，佐藤守彦，大楠清文，田村友美，吉田輝彦，松浦亮，持田泰寛，岡真知子，真栄里恭子，日高寿美，大竹剛靖，小林修三：比較的早期に診断し得た非結核性抗酸菌によるPD腹膜炎の1症例. ～PCR法の重

- 要性～. 第29回神奈川県CAPD研究会, 横浜, 2015.
- 14) 持田泰寛: LDLアフェレシスが著効した
Calciphylaxis合併血液透析患者の一例. 湘南透析
研究会, 藤沢, 2015.
- 15) 福田真也, 西村彰紀, 池田崇, 守矢英和, 日高
寿美, 大竹剛靖, 小林修三: リハビリ介入の有
効性について～腎臓病患者の在院日数に關与す
る因子の検討～. 第90回神奈川県腎研究会, 横浜,
2015.
- 16) 持田泰寛, 川端千晶, 田村友美, 石岡邦啓, 岡
真知子, 真栄里恭子, 守矢英和, 日高寿美, 大
竹剛靖, 宮下祐介, 齋藤滋, 小林修三: 高度狭
窄病変を有する動脈硬化性腎動脈狭窄症 (ARAS)
患者に対する経皮的腎動脈形成術 (PTRA) の有
用性と長期予後の検討. 第6回腎不全研究会,
東京, 2015.
- 17) 吉岡睦美: 湘南鎌倉総合病院におけるレシピエ
ントコーディネーターの役割とその活動につい
て. 第3回湘南腎・移植ミーティング, 鎌倉, 2015.
- 18) 赤羽祥太: 術者として経験した生体腎移植の1
例～タクロリムスの免疫抑制療法を含めて～.
第3回湘南腎・移植ミーティング, 鎌倉, 2015.
- 19) 愛甲美穂: 透析患者における末梢動脈疾患～リ
スク分類 (鎌倉分類) を用いたフットケア介入
による重症下肢虚血進展防止に対する有用性～.
第2回湘南透析研究会, 藤沢, 2015.
- 20) 川端千晶: 慢性B型肝炎治療中に生じたFanconi
症候群の一例, 第12回CKD Conference in
Kamakura, 鎌倉, 2015.
- 21) 持田泰寛, 大竹剛靖, 川端千晶, 田村友美, 石
岡邦啓, 岡真知子, 真栄里恭子, 守矢英和, 日
高寿美, 小林修三: 高度狭窄病変を有する動脈
硬化性腎動脈狭窄症患者に対する経皮的腎動脈
形成術の長期予後の検討, 腎と心血管障害研究
会, 東京, 2015.
- 22) 愛甲美穂: 透析患者における末梢動脈疾患～リ
スク分類 (鎌倉分類) を用いたフットケア介入
による重症下肢虚血進展防止に対する有用性.
第2回湘南透析研究会, 藤沢, 2015.
- 23) 持田泰寛, 大竹剛靖, 川端千晶, 田村友美, 石
岡邦啓, 岡真知子, 真栄里恭子, 守矢英和, 日
高寿美, 小林修三: 高度狭窄病変を有する動脈
硬化性腎動脈狭窄症患者に対する経皮的腎動脈
形成術の長期予後の検討. 第6回腎不全研究会,
東京, 2015.
- 24) 真栄里恭子, 田村友美, 持田泰寛, 石岡邦啓,
岡真知子, 守矢英和, 日高寿美, 大竹剛靖, 小
林修三: 血液透析患者における血清亜鉛と骨に
關する因子についての検討. 第89回神奈川県腎研
究会, 横浜, 2015.
- 25) 日高寿美, 松浦亮, 吉田輝彦, 田村友美, 川端
千晶, 真栄里恭子, 持田泰寛, 石岡邦啓, 岡真
知子, 守矢英和, 大竹剛靖, 手島伸一, 小林修
三: 側頭動脈炎を合併した尿細管間質性腎炎の1
例, 腎間質障害研究会, 東京, 2015.
- 26) 福田真也, 西村彰紀, 池田崇, 守矢英和, 日高
寿美, 大竹剛靖, 小林修三: リハビリ介入の有
効性について～腎臓病患者の在院日数に關与す
る因子の検討～. 第90回神奈川県腎研究会, 横浜,
2015.
- 27) 守矢英和: 慢性維持血液透析患者における大動
脈弁狭窄症手術の予後に関する因子の検討～収
縮期血圧の重要性～. 第21回SK腎セミナー, 湘
南鎌倉総合病院, 2015.
- 28) 守矢英和: 高度腎機能障害患者におけるSGLT2
阻害薬の使用経験. 第22回SK腎セミナー, 湘南
鎌倉総合病院, 2015.

(6) 座長・司会・開会の辞

1. 日高寿美：Opening Remarks 第16回SK腎セミナー，鎌倉，2015.
2. 持田泰寛：座長 一般演題 第16回SK腎セミナー，鎌倉，2015.
3. 小林修三：座長 特別講演 第16回SK腎セミナー，鎌倉，2015.
4. 大竹剛靖：Closing Remarks 第16回SK腎セミナー，鎌倉，2015.
5. 大竹剛靖：座長 腎周辺疾患セミナー，横浜，2015.
6. 小林修三：座長 特別講演 第11回CKD Conference in Kamakura，鎌倉，2015.
7. 小林修三：座長 特別講演 第9回末梢循環セミナー，横浜，2015.
8. 日高寿美：座長 一般演題 第17回SK腎セミナー，鎌倉，2015.
9. 小林修三：セミナー統括 第17回SK腎セミナー，鎌倉，2015.
10. 大竹剛靖：座長 特別講演 第17回SK腎セミナー，鎌倉，2015.
11. 大竹剛靖：座長 特別講演 第2回SASと心血管障害，鎌倉，2015.
12. 小林修三：閉会の挨拶 第2回SASと心血管障害，鎌倉，2015.
13. 大竹剛靖：Opening Remarks 第18回SK腎セミナー，鎌倉，2015.
14. 日高寿美：座長 一般演題II 第18回SK腎セミナー，鎌倉，2015.
15. 守矢英和：座長 特別講演 第18回SK腎セミナー，鎌倉，2015.
16. 小林修三：Closing Remarks 第18回SK腎セミナー，鎌倉，2015.
17. 日高寿美：Opening Remarks 第19回SK腎セミナー，鎌倉，2015.
18. 守矢英和：座長 一般演題 第19回SK腎セミナー，鎌倉，2015.
19. 大竹剛靖：座長 特別講演 第19回SK腎セミナー，鎌倉，2015.
20. 小林修三：Closing Remarks 第19回SK腎セミナー，鎌倉，2015.
21. 日高寿美：Opening Remarks 第20回SK腎セミナー，鎌倉，2015.
22. 持田泰寛：座長 一般演題 第20回SK腎セミナー，鎌倉，2015.
23. 大竹剛靖：座長 特別講演 第20回SK腎セミナー，鎌倉，2015.
24. 小林修三：Closing Remarks 第20回SK腎セミナー，鎌倉，2015.
25. 小林修三：司会 特別講演 大塚製薬e 講演会 OTSUKA CONFERENCE オンデマンド放送，東京，2015.
26. 日高寿美：座長 シンポジウム3 第13回日本フットケア学会年次学術集会，東京，2015.
27. 小林修三：座長 会長講演 第13回日本フットケア学会年次学術集会，東京，2015.
28. 小林修三：座長 理事長企画 第13回日本フットケア学会年次学術集会，東京，2015.
29. 守矢英和：座長 ミニレクチャー3 第13回日本フットケア学会年次学術集会，東京，2015.
30. 大竹剛靖：座長 特別講演4 第4回マゴットセラピー研究会，東京，2015.
31. 小林修三：座長 特別講演 サムスカ学術講演会，横浜，2015.
32. 日高寿美：座長 一般講演 第17回SK腎セミナー，鎌倉，2015.
33. 大竹剛靖：座長 特別講演 第17回SK腎セミナー，鎌倉，2015.

34. 小林修三:セミナー統括 第17回SK腎セミナー, 鎌倉, 2015.
35. 小林修三:座長 ジョイントシンポジウム 第5回日本腎臓リハビリテーション学会, 東京, 2015.
36. 小林修三:開会の辞 CHUGAI SYMPOSIUM 2015～ANCA・難治性ネフローゼの新戦略～, 横浜, 2015.
37. 小林修三:座長 講演1 CHUGAI SYMPOSIUM 2015～ANCA・難治性ネフローゼの新戦略～, 横浜, 2015.
38. 小林修三:座長 特別講演 湘南透析研究会, 藤沢, 2015.
39. 大竹剛靖:座長 第2回SASと心血管障害 湘南鎌倉総合病院, 2015.
40. 小林修三:閉会の挨拶 第2回SASと心血管障害, 湘南鎌倉総合病院, 2015.
41. 小林修三:司会 ランチョンセミナー5 第60回日本透析医学会学術集会・総会, 横浜, 2015.
42. 小林修三:座長 特別講演II 第8回CKD&DM SUMMER SEMINAR in Kamakura, 鎌倉, 2015.
43. 小林修三:Opening Remarks 湘南鎌倉総合病院 内科後期研修センター 研修説明会in Tokyo, 東京, 2015.
44. 小林修三:Closing Remarks 湘南鎌倉総合病院 内科後期研修センター 研修説明会 in Tokyo, 東京, 2015.
45. 小林修三:司会 モーニングセミナー3 第45回日本腎臓学会東部学術大会, 東京, 2015.
46. 小林修三:座長 湘南糖尿病学術講演会～糖尿病領域及び腎臓領域から見たSGLT2阻害薬の可能性～, 鎌倉, 2015.
47. 大竹剛靖:座長 つなげよう!透析患者のフットケア～足病連携の悩みとやりがい～, 鎌倉, 2015.
48. 守矢英和:座長 湘南鎌倉 SHUNT CARE SEMINAR, 鎌倉, 2015.
49. 日高寿美:座長 一般演題2 方法・技術 第36回日本アフェレシス学会学術大会, 川越, 2015.
50. 守矢英和:座長 一般演題18 薬物中毒 第36回日本アフェレシス学会学術大会, 川越, 2015.
51. 日高寿美:座長 一般演題40 腎疾患② 第19回日本病態栄養学会年次学術集会, 横浜, 2016.
52. 徳本直彦:司会 第3回湘南腎・移植ミーティング, 鎌倉, 2015.
53. 小林修三:開会の辞 第2回湘南透析研究会, 藤沢, 2015.
54. 小林修三:座長 特別講演 第12回 CKD Conference in Kamakura, 鎌倉, 2015.
55. 守矢英和:司会 教育セミナー4 第21回日本腹膜透析医学会学術集会・総会, 仙台, 2015.
56. 小林修三:座長 シンポジウム1 第7回日本下肢救済・足病学会学術集会, 2015.
57. 守矢英和、新良啓子:司会 一般演題12 第7回日本下肢救済・足病学会学術集会, 2015.
58. 石岡邦啓:座長 一般演題 第21回SK腎セミナー, 湘南鎌倉総合病院, 2015.
59. 大竹剛靖:座長 特別講演 第21回SK腎セミナー, 湘南鎌倉総合病院, 2015.
60. 日高寿美:Opening Remarks 第21回SK腎セミナー, 湘南鎌倉総合病院, 2015.
61. 小林修三:Closing Remarks 第21回SK腎セミナー, 湘南鎌倉総合病院, 2015.
62. 持田泰寛:座長 一般演題 第22回SK腎セミナー, 湘南鎌倉総合病院, 2015.
63. 日高寿美:座長 特別講演 第22回SK腎セミナー, 湘南鎌倉総合病院, 2015.
64. 大竹剛靖:Opening Remarks 第22回SK腎セミナー, 湘南鎌倉総合病院, 2015.

65. 小林修三:Closing Remarks 第22回SK腎セミナー, 湘南鎌倉総合病院, 2015.
- (7) 総説
1. 大竹剛靖, 小林修三. 特集1 アフェレシス療法の新しい展開【腎臓疾患とアフェレシス療法】難治性ネフローゼ症候群へのアフェレシス療法 腎と透析 Vol.78 東京医学社:182-186, 2015.
 2. 持田泰寛, 大竹剛靖, 小林修三: 特集 内分泌・代謝・電解質 低リン血症 リン補充開始基準, 補充方法と Refeeding 症候群 INTENSIVIST Vol.7 メディカル・サイエンス・インターナショナル: 545-554, 2015.
 3. 石岡邦啓, 日高寿美, 小林修三: IV糖尿病の治療総論 2. 腎機能障害患者, 透析患者における糖尿病の治療目標とコントロール指標 糖尿病と腎疾患2015 腎と透析 Vol.78 増刊号 東京医学社: 148-152, 2015.
 4. 松浦亮, 野入英世, 小林修三: IX 症例からみる諸問題 15. 糖尿性腎症患者と睡眠時無呼吸症(SAS) 糖尿病と腎疾患2015 腎と透析 Vol.78 増刊号 東京医学社: 485-488, 2015.
 5. 守矢英和, 小林修三: 私の処方 保存期慢性腎臓病 Modern Physician Vol.35 株式会社新興医学出版: 663-664, 2015.
 6. 小林修三, 日高寿美, 所晋之助, 湯浅章平: ADPKD診療の実態—トルバプタンがもたらすベネフィットと処方におけるリスク管理—日経メディカル 5 2015: 115-118, 2015.
 7. 石岡邦啓, 小林修三: 第1章 下肢動脈 5診療科の枠を超えた連携 4. 透析科の視点から 改訂版格段にうまくいくEVTの基本とコツ 羊土社: 241-243, 2015.
 8. 小林修三: LDLアフェレシスの現状と今後の展望 医工学治療 Vol.27: 139-144, 2015.
 9. 日高寿美, 西尾妙織, David Wheeler: 患者医師のコミュニケーション〜ADPKD診療の未来 日経メディカル Online 2015.
 10. 日高寿美, 西尾妙織, David Wheeler: サムスカ治療1年間の経験から学べるもの 日経メディカルOnline 2015.
 11. 岡真知子, 小林修三: 下肢閉塞性動脈症の病態 腎と透析 糖尿病と腎疾患 2015.
 12. 大竹剛靖, 小林修三: 難治性ネフローゼ症候群へのアフェレシス療法 腎と透析 78:182-186, 2015.
 13. 日高寿美, 持田泰寛, 守矢英和, 大竹剛靖, 小林修三: 透析患者の下肢慢性創傷感染に対する抗菌薬治療 日本下肢救済・足病学会誌 7: 17-24, 2015.
- (8) 原著
1. 日高寿美, 持田泰寛, 真栄里恭子, 石岡邦啓, 岡真知子, 守矢英和, 大竹剛靖, 小林修三: 甲状腺クリーゼ, 心肺停止蘇生後に伴う多臓器不全に対し血漿交換が奏功した1例. 本急性血液浄化学会雑誌, 6: 3-66, 2015.
 2. Okamoto K, Honda K, Doi K, Ishizu T, Katagiri D, Wada T, Tomita K, Ohtake T, Kaneko T, Kobayashi S, Nangaku M, Tokunaga K, and Noiri E.: Glypican-5 Increases Susceptibility to Nephrotic Damage in Diabetic Kidney. Am J Pathol 185:1889-1898, 2015.
 3. Hidaka S, Kobayashi S, Maesato K, Mochida Y, Ishioka K, Oka M, Moriya H, Ohtake T, Nomura S: Hydrophilic Polymer-Coated Polysulfone Membrane Improves Endothelial Function of Hemodialysis Patients: A Pilot Study J Clin Nephrol Res 2(2):1020, 2015.